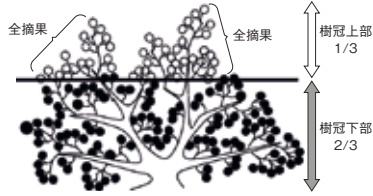


アグリ ワーク ポイント



(図1) 樹冠上部摘果のイメージ図



(写真1) 枝別全摘果した場合の収穫前の様子

- ・ 固着剤 アピオンE 10000倍
- ・ コテツフロアブル 40000倍 (前日ー2日)
- ・ アザミウマ類、ミカンサビダニ
- ・ 黒点病 ペンコゼブ水和剤 500倍 (30日ー4回)

病害虫防除

累積降雨量250mmを基準に黒点病の再防除を行います。まとまった雨が予想される場合は固着剤を活用し、黒点病の予防に努めましょう。

マルチを被覆することで、水分遮断による糖度上昇や反射光による着色促進が見込めます。被覆時期は早生温州が7月中下旬、青島温州が8月上旬〜9月上旬です。過度な乾燥は悪影響となるので、状況に応じてかん水も必要となります。

マルチ被覆

- ・ フィガロン乳剤
- 1回目 満開後70日 (早生60日)
- 2回目 満開後90日 (早生80日)

薬剤散布

果実の横径が平均3cm以上で、二次落果終了後に散布してください。ただし、樹に大きな負担が掛かるので、樹勢が低下している樹への散布は控えましょう。

品質向上対策

糖度が高いミカンを栽培するには、樹にある程度ストレスを与えることが重要です。樹勢に注意しながら薬剤散布やマルチ被覆を検討しましょう。

枝別全摘果…目通り部で太さ3〜5cm程度の発育枝が発生している枝を全摘果し、着果させない枝を作ります。(写真1)

樹冠上部摘果…樹上部1/3程度の果実を全て摘果します。(図1)

隔年結果は正のために、なるべく早く強い摘果が必要で、**着果量の多い樹**の早期摘果の方法は、**樹冠上部摘果**や**枝別全摘果**などがあります。7月に大部分を摘果し、9月に仕上げ摘果を行います。**着果量の少ない樹**は、9月の後期摘果を主体とし、7月は被さり枝の除去を中心に管理してください。

結実管理対策

今年産の温州ミカンは、極早生・早生温州が表年、普通温州は裏年傾向で、全国生産量は約74万tと発表されました。基本管理を徹底し、安定的に果実を成らせ、収量増加と所得向上につなげましょう。

令和3年産の傾向



果樹林産センター 小柳 博明